学校経営ビジョン

自信と誇り、高い志を持つ自立した経済人の育成を目指し、地域および県民の負託に応える学校の創造

本年度の重点目標

(1)学力向上

普通教科、専門教科を問わず、授業を通して高い教養と専門性を身につけさせ、産業社会に貢献できる 生徒の育成を目指す。

(2) 自律した品格ある生徒の育成

本校生徒としての誇りを持ち、言動に責任のある自律した品格のある生徒を育成する。

(3) 部活動を通して高い人間力を持つ生徒の育成

体育系部活動・文化系部活動とも、本校部活動の輝かしい歴史を継承するとともに、さらに高い目標に 挑戦する。競い合い、助け合い、学び合う中で、高い人間性、人間力を持つ生徒の育成を図る。

(4)地域文化を担い、貢献できる生徒の育成

地域社会と積極的に様々な交流を行うことで、生徒の見識を広めさせ、社会性や公共心の育成を図る。

[学校関係者評価のポイント]

- ・ 自己評価の項目や指標は、適切に設定されているか。
- ・ 自己評価の結果は、具体的方策・指標等をもとにした妥当なものであるか。
- ・ 自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は 適切であるか。

4 : 期待以上 3 : ほぼ期待通り 2 : やや期待を下回る 1 : 改善を要する

評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己評価	学校 関係者 評価	学校関係者評価コメント
究授業、授業 評価を推進し	自主的・主体的学習を推進する。 ② 質の高い魅力ある授業の推進を図るために職員研修や研究授業、授業評価等を実施し、指導力向上に努める。	 ① 定期考査の試験範囲を学習委員が中心となって調査、作成、配布をすることで、計画的な学習の実践につながっている。 ② 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を目指した「公開授業」期間を設定し、各教科で実施したが、実施状況の確認や報告等にまだ改善の余地がある。 ③ 長期休業中に学習相談会を実施し、各自の今後の学習に対するアドバイスを行ったり、特定の生徒に対しては教科担任会を実施するなど、生徒の実態に即した効果的指導に努めた。 ④ 台風や大雨による自宅待機が2日間、途中下校が1日あり、時数の調整について、前期ばかりでなく、後期の授業で調整を行った。 	3		・日商簿記等の各種検定へ挑戦することを バックアップする体制をとられていること が分かりました。 ・外部講師も招いて、生徒の皆さんがより 理解を深めることができる環境づくりに努力をされていることが分かります。 ・授業の内容や状況を直接見ることはできませんが、取組の成果を見ると目標は概ね 達成しているように思います。今後も生徒の進路希望を、適切に判断できる機会を早い段階で設けて、一人ひとりに丁寧な指導を行っていただければと思います。
生徒の進路目標に応じた計画的な教科指導を構築する。	度資格まで確かな学力をつけさせ、卒業後も 更に専門性を深める向上心を育てる。 ② 生徒情報・進路情報のシステム化を図り、 情報の共有を図る。	 取業で調査を行うた。 検定取得の1週間前から、商業科、英語科の協力を得て計画的に課外を実践し、成果を収めている。 ポートフォリオ的な進路ファイルを用意し、情報を保管している。担任中心とならざるを得ないが、全職員がその情報を活用しながら多面的な評価につなげたい。 生徒指導部と協力しながら社会人として通用する挨拶や健康管理、服装など、身につけられる日常指導を行っている。 クラス連絡箱を活用して、進路委員が上級学校の案内などを定期的に行っている。次年度に向けては、進路からの連絡いかんによらず、生徒の主体性がうまれることを期待する。 			・画一的な教育にならないよう生徒一人ひとりの実態に即した指導を行うことで、個々の学習意欲を引き出すための工夫が見られます。 ・挨拶は社会人に限らず基本中の基本ですが、都商の生徒は来客者に対して誰もが元気良い挨拶をしてくれます。 ・携帯等の普及により本や新聞等を読む機会が少なくなる中、取り組みの充実により傾向だと思います。 ・資格は取得することが目的とならないよ
習力(自宅学 習の在り方、 考査前の自己	 図書閲覧室及び視聴覚室の利用を促進する。 朝の10分間読書を定着させ、生徒の読書習慣を培う。 生徒の感性を高める芸術鑑賞を実施する。 	① 図書委員のカウンター当番の活動充実のお陰で昼休み・放課後の利用者が増えた。また、廊下の新聞の閲覧者も増えた。② 図書の予約がミライム(グループウェア)導入によ	3	3	・賃格は取得することが目的とならない。 う、先の進路を見据えた指導を行うことが 大変重要だと思います。 ・3年間を通し、段階的にキャリア教育を 積むことで進路に対する生徒のモチベーを ョンも変わってくると思います。 ・面接指導は繰り返しの練習により自信を 持って臨めることが重要であり、その指導 により結果も残せたようです。
高度資格取得 を推進する。 (各種検定へ の挑戦)	を把握し指導を行う。日々課題・小テストの 継続により学習の定着を図る。	① 希望者を対象に朝課外を計画的に実施した。今後、指導方法の改善及び主体的に学ぶ姿勢を育成できるよう仕掛けが必要である。 ② 資格取得の重要性について、卒業後の就職進学に関連づけ、生徒に理解をさせることで、継続的に学習する意欲をもたせる。	3		・的確な対策が講じてあるので、問題ないと思います。・資格も多くあり、将来に活用されることと思います。
したキャリア 教育を確立す る。		 ① キャリア教育の全体像を意識しながらも、進路実現のための方策に重点を置かざるを得ない。 ② 他校の生徒と一緒に面接等の指導を受けることで緊張感のある指導ができた。 ① 全職員で生徒への面接指導を計画的に行うことで、生 	2		
路保障を実現する。		徒も複数回の練習ができ、自信をもって面接試験に臨み 結果を残せた。 ② 大学入試等の小論文対策として、受験生徒に担当の職 員を配置し、きめ細やかな指導を行った。	3		

4 段階評価 4 : 期待以上 3 : ほぼ期待通り 2 : やや期待を下回る 1 : 改善を要する

【自律した品格ある生徒の育成】 本校生徒として誇りを持ち、言動に責任ある自律した品格ある生徒を育成する。

評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	己	学 人	学校関係者評価コメント
元気な挨拶の 励行を推進す る。	 校門指導を実施する。 運刻指導の充実を図る。 	① 職員が毎朝校門付近であいさつ指導を行った。生徒の登校状況も良好で、校外での地域住民への挨拶にもつながった。② 遅刻や容儀違反がないよう、全職員での指導の徹底を図った。	3		・朝、商業高校角の交差点に立ち見守りを 行う際、交通ルールを守り安全に登校する 生徒の姿が見られます。
授業規律を遵 守させる。	① 学年集会や全校集会の中でマナー指導を行うことにより、授業マナーの向上を図る。	① 集会時には、無言集合を促し、概ね良好であった。授 業時の態度も良好であった。	3		・何度か来校して、全体的にマナーがいい と感じています。挨拶についても皆さんが
校則、交通法 規、IT機器 マナーなど遵 法精神及び生	① あいさつ運動、校門指導や駐輪指導を実施する② 防災訓練及び薬物乱用防止教室、保険講	① 部活動生や生徒会の生徒が駐輪場の整理と整列を行った。校門でのあいさつ運動が定着した。生徒は熱心にあいさつ運動に取り組んだ。 ② 防災訓練では消防署から良好な評価をいただいた。	3		元気よくする姿が印象的でびっくりしています。ただ、中には恥ずかしいのか分かりませんが、来校者に挨拶をしない生徒もいたので、せっかくなら全員ができる学校になると素晴らしいと思います。 ・前述した通り、都商生は元気に挨拶してくれます。 ・昨年2年生を対象にした講話を行いましたが、皆さんの受講態度は大変良かったです。 ・状況把握のためのアンケートも複数回、定期的に行われており、学校側の積極的な姿勢が見られます。 ・投票率が年々下がる中、教育の現場で実践的な啓発活動を行うことは大変有効であると考えます。 ・的確に対応されていて、問題ないと思い
命・人権尊重 の精神を滋養 する。	話(性教育等)を行う。 ③ インフルエンザ対策として窓を開ける習慣をつけさせる。	③ 校内放送により、換気を促し、習慣づけることができた。			
積極的生徒指導の推進 (面接指導の強化、生徒理解の深化、教員間の連携保護	① 問題行動の防止と早期発見に努め、問題行動ゼロを目指す。② 教育相談アンケート・いじめ等アンケート	① 問題行動の未然防止という観点での指導を集会等で随時行い、クラス、学年、学校全体での雰囲気作りを行った。 ② 6月と11月の教育相談週間、4月と1月にいじめ等		3	
者との連携、啓発活動問題行 動の早期発見・解決)	の実施し、いじめ等の未然防止を図る。 ③ 健康に関する調査集計を行い、生徒の継続 指導を行う。	アンケートの実施し、結果を受け指導を行った。 ③ 保健室からの発信だけではなく、生徒会(保健委員会)活動を通して、生徒が自ら自分の健康管理をしていく意識を高められるような取組を行った。			
生徒会、学科長会、部長・キャプテン会育成と自治意	① 各部のキャプテンに対するAED講習会を実施する。② 部活動のキャプテン集会を実施する。	② 部活動の部長及びキャプテンを対象に集会を実施し リーダー育成を図った。	3		
識を滋養す る。 生徒会を中心	施する。	③ 地歴公民科の授業の中で、有権者(18歳)に 対する投票への啓発活動を行った。① 県議会議員に来校いただき、当事者意識を育てる講演		-	ます。 ・残念ですが登校中に道路を自転車で斜め 横断する生徒を見かけたことがあります。
とした生徒主 導の学校行事 運営を推進す	② 文化祭の取組を通じて新しい文化の創造を図る。	を行った。 ② 各クラスにおいて、生徒全員で取り組み、質の高い内容であった。	3		大変危険です。
る。 3年生が2年	習)の成功を目指す。	③ クラスマッチ・販売実習ともに大成功であった。行事を経験することで、生徒は大いに成長した。① 集会、学校事等で学科長の活躍し、学科のまとまりが			
生へ、2年生	② 美化意識の向上を図るため、環境問題の 学習を深め、啓発活動を強化する。 ③ 図書委員会を活性化させる。	② 清掃活動の定期点検を行った。3年生が、LHRを使い、教室、廊下、階段等の床清掃を行った。3 ② 定例の委員会活動、カウンター当番、他校との研修会等、積極的な活動が見られた。	3		
たっく)。		等、傾極的な活動が見られた。 ④ 図書館の利用マナーは、良好である。 ⑤ 公共物の利用状況は、良好である。			

【部活動を通して高い人間力を持つ生徒の育成】

動実績を広報に努める。

への部活動の

教育的意義や 目的を理解さ

せ、健全な部

とする。

体育系部活動・文化系部活動を問わず、本校部活動の輝かしい歴史を継承するとともに、さらに高い目標 に挑戦する。 競い合い、助け合い、学び合う中で、高い人間性、人間力を持つ生徒の育成を図る。

評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己評価	学 校 関係者 評 価	学校関係者評価コメント
部活動生は勉	① 定期考査前の部活動の自粛を呼びかける。	① 定期考査前、一部に練習している生徒も見られた。			・生徒の皆さんが活き活きと部活動に励む
学と部活動の	② 部活動に未加入の生徒の指導を行う。	② 部活動に加入していない生徒についても指導を丁寧	2		声などが地域にも聞こえてきます。部活動
両立を第一と		に行った。			を通してこそ培える人間力の育成にも力を
する。					入れられていることがよく分かります。
全国高校総体	① 部活動を全職員で協力して応援できる体	① 運動部、文化部、商業教育いずれも県内大会で上位入			

や高文連大会 制を作り、実績を残す。 賞し、全国・九州大会で実績を残した。 で上位入賞を 3 目指す。 生徒·保護者 □ 企業への就職先及び大学等へも本校の部活 □ 学校案内パンフレットに部活動実績を掲載し、広報に

- 努めた。
- 【② 各部活動の成績や写真をHPやPTA新聞 【② 本校ホームページに各種の実績を広報することが出来 3 た。アクセス数は、前年度同様、増加傾向である。 に掲示し広報に努める。
- 活動を育成す 部活動を通し ① 高い部活動の加入率を背景として部活動を ① 部活動加入率 (5月時点) は90%で、ほとんどの ての高い人間 通して人間性を育成する。 生徒が部に加入している。また、キャプテン集会を実施 し、リーダー養成として、講話や指導を行った。 性や人間力の 3 育成指導目標
- 3.1 待します。 ・部活動に関してはこれまでも輝かしい成

績を残しており申し分ありません。

・部活動については、本当に熱心にしてい

る印象があります。ホームページにも広報

今後も文武両道となるよう適切な指導を期

が頻繁に行われて良い傾向だと思います。

- ・定期考査前に練習している部活動につい ては昨年も同様の課題が見られた。地道に 指導し、学校としての取り組みを浸透させ る必要があると思います。
- ・加入率90%は素晴らしいと思います。 企業が求めている人材として「部活動生」 とよく耳にしますので、今後も継続しても らいたいと思います。

【**地域文化を担い、貢献できる生徒の育成**】 地域社会と積極的に様々な交流を行うことで、生徒の見識を広めさせ、社会性や公共の育成を図る。

評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己評価	学 校 関係者 価	
保護者・同窓	① 朝のあいさつ運動と駐輪指導を実施する。	① 毎朝、部活動生と生徒会の生徒が中心に校門付近であ			
会・地域社会		いさつ運動や駐輪場整理を行った。			・コマーソウルなど、地域とのつながりを
との連携し信	② 自転車の施錠指導を実施する。	② 交通安全委員会を中心に、定期的な指導を行った。			大切にする取組を展開されており、学校だ
頼される学校	③ 交通安全教室の実施で、交通事故ゼロを目	③ 交通事故については、昨年度より減少したが、日々の			けでなく社会とつながる活動の中で大いに
を目指。す	指す。	担任の指導及び交通安全教室の実施などで防止を図り、ゼロを目指す。	3		社会性や公共の育成が図られていると感じます。
	④ PTA・同窓会との連携を図るとともに、	④ PTA総会の出席率は約91.7%(二次集会含む)で			
	活動の充実に努める。	多くの参加があった。全保護者に一人一役で委員をお願			・限られた時間の中で地域社会と積極的な
		いし、全体でのPTA活動を実施してきた。夏は、PT			交流はできていると思います。せっかくで
		Aバレーを実施し、多くの保護者及び教職員が参加し、			すので、その意義を生徒に伝え、自主的に
		相互の親睦を図れた。			交流を深めたいと思えるような工夫がある
地域の様々な	① 都城市との連携を図り高校生の元気を地域	① 都城市の協力により、販売実習を中心市街地Mallm		1	と更によいと思います。
行事やボラン	の活力につなげる。	allで実施することができた。また、青年会議所、高			
ティア活動等		齢者クラブ等との連携により、地域に貢献できた。			・PTA総会の出席率は前年より若干下が
に積極的に参	② 地元開催の各種行事に積極的にかかわるこ	② 地元企業と連携し、開発した商品を「ぼんちマルシ	4	3. 4	っているものの、高い出席率となっており
加する。	とで、地域を知る機会を持たせる。	ェ」で販売し、好評を得た。			保護者の学校活動への関心の高さが伺えま
	③ ボランティア活動を励行する。	③ 施設等の要請はもちろん、積極的にボランティア活			す。
		動に参加した。			・学校外の活動も積極的で定着してきてお
広報活動を通	① 地域に存在感をアピールできる学校を目指	① 8月と12月に体験入学(オープンスクール)を実施			り確実に実績を残しています。
して、本校の	し、積極的な広報活動等の工夫改善に努め	し、中学生に学校の強みを説明した。12月は、昨年ま			・生徒による進路体験の発表を行うことは
教育活動状況	る。	でと内容を変え、生徒の課題研究発表や進路体験発表を			学校を選ぶ上で中学校にとっても大変有意
を逐次発信し		行った。中学生の参加申込みは依然としてFAXが中心			義になったことと思われます。
たり、中学校		で、入力データの送信が活用されていないので、そのメ			
訪問の機会を		リットを中学校にもアピールしていきたい。	3		・今後も引き続き、積極的に取り組んでい
増やすことで	② 中学校での高校説明会や行事等へ積極的	② 視覚的にわかりやすいプレゼンテーションを心がけ、			ただきたいと思います。
中学3年生の	に参加する。	管内中学校の全校に参加した。複数回実施の中学校では			・販売実習もたくさんのお客さんがいらし
都商進学希望		模擬授業を行い、興味関心、学校理解につながった。			たので良かったと思います。
者の増加に努	③ 学校パンフレットの作成・HPの 更新を	③ 学校案内パンフレットには、3年間の教育活動がわか			
める。	行う。	るように作成した。HPは、毎日、更新し、本校の情報			
		を積極的に発信した。			